

ローカルメーリングリストと 感染症ローカルサーベイランス

小児科月一会メールグループ
渡部礼二 他43名

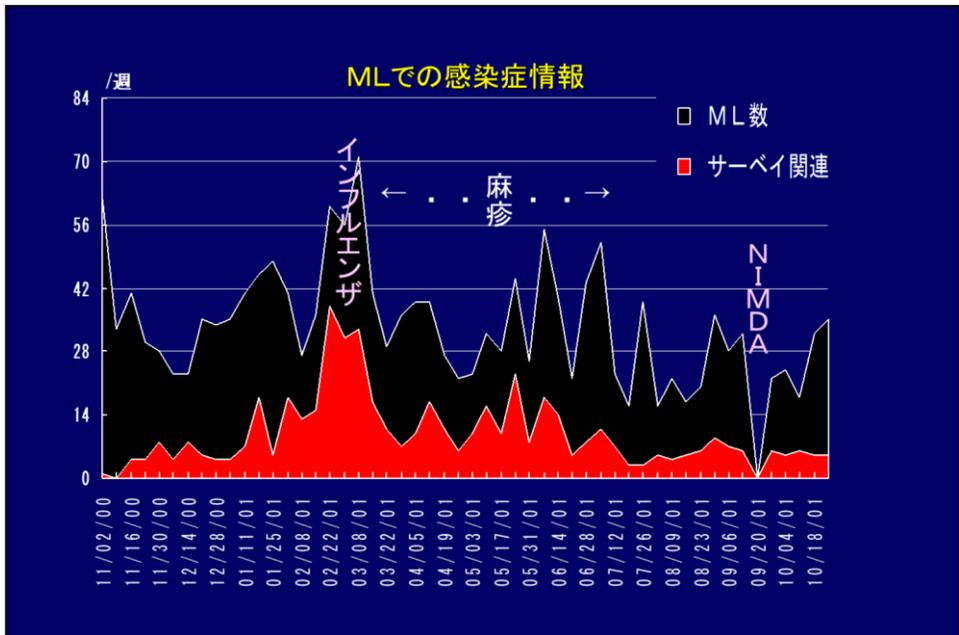
当メールグループは前回インフルエンザについての報告をした。今回は、今年流行した石川県の麻疹について報告する。メール上でのタイムラグのないローカルな感染症情報はその診断や院内感染（待合室での感染）の予防にとって貴重な情報源となった。また麻疹の流行の公表及び報道がその予防接種数の増加をもたらした事がメール上のアンケートでわかった。それらローカルメーリングリストでの感染症ローカルサーベイランスの有用性について報告する。今回、発表者はわたなべ小児科医院ではなく月一会メールグループの渡部であります。

小児科月一会メールグループ

伊藤 茂	入道秀樹	上田智子	上野康尚
大野高史	岡本正樹	岡本 力	奥田則彦
笠原善仁	金戸善之	加藤貞人	加藤彰一
加畑寿明	川島ひろ子	北谷秀樹	久保 実
越田理恵	斉藤建二	酒詰 忍	清酒外文
多賀千之	長沖 武	中村英夫	半井孝幸
南部 澄	西田直巳	野崎外茂次	蓮井正樹
林 律子	堀田成紀	本家一也	正木克治
松田 明	丸山 繁	南 聡	宮森千明
向井幹夫	武藤一彦	村田明聡	村田祐一
山上正彦	横井 透	吉田 均	渡部礼二

前回福井でのインフルエンザ報告に引き続き「月一会、第2弾」であります。

石川県の小児科有志での「月一会のメーリングリスト」も満1歳になりました。この演題の共同演者名です。



我々のメーリングリストでは、感染症情報を積極的に集めています。この縦軸が1週間のメール数です。赤い色の部分はその内の感染症の報告等／感染症サーベイ関連です。ここはインフルエンザの流行した時。ここは麻疹、ここはコンピューター自身の感染症でNIMDAウイルスによるサーバーダウンです。

渡部です。

Influenza A - Quick (+)の報告

2/28 発症

金沢南地区泉本町在住 4才男児

龍雲寺保育所通園

39.5℃の発熱のみ

2/28 [kinders_00634] A型インフルエンザの報告

これは私のA型インフルエンザの報告です。
感染症を診断すると年齢、居住地、保育所名
等を各会員が夫々メールで流します。

-要注意施設-

七尾市内: {総ての保育園}

金沢市: 《大野町保育園》《くるみ保育園》《米丸小学校》《諸江小学校》

-注意-

17日金沢押野公民館でのポリオを受けに行った児

七尾地区: 5人入院中(能登総合病院)

: ほとんどの保育所に麻疹患児(+)(*5/14 Dr笠原)

: 6才(5/3 Dr久保)

高松地区: 高松小8才♂(5/7 Dr北谷)

金沢北地区(塚崎町): 自宅2才♂→入院(5/12 Dr本家)

金沢東地区: 聖霊保育園1才♀→市立病院入院(5/11,14 Dr笠原)

: 1才(5/2 Dr笠原)

(北安江): 諸江小3年♂(5/21 Dr加藤(彰))

: 諸江小4年♂(5/10 Dr長沖)

3年♀(4/29 Dr大野)

: 8才(5/5 Dr久保)

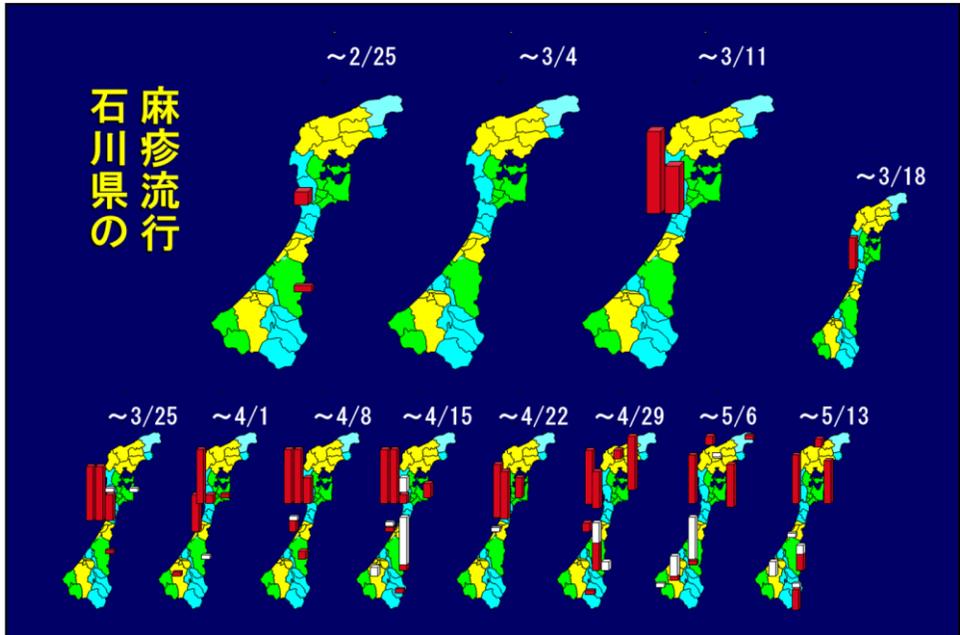
: 1才(5/5 Dr久保)

: 大野保育園1才(5/4 Dr久保)

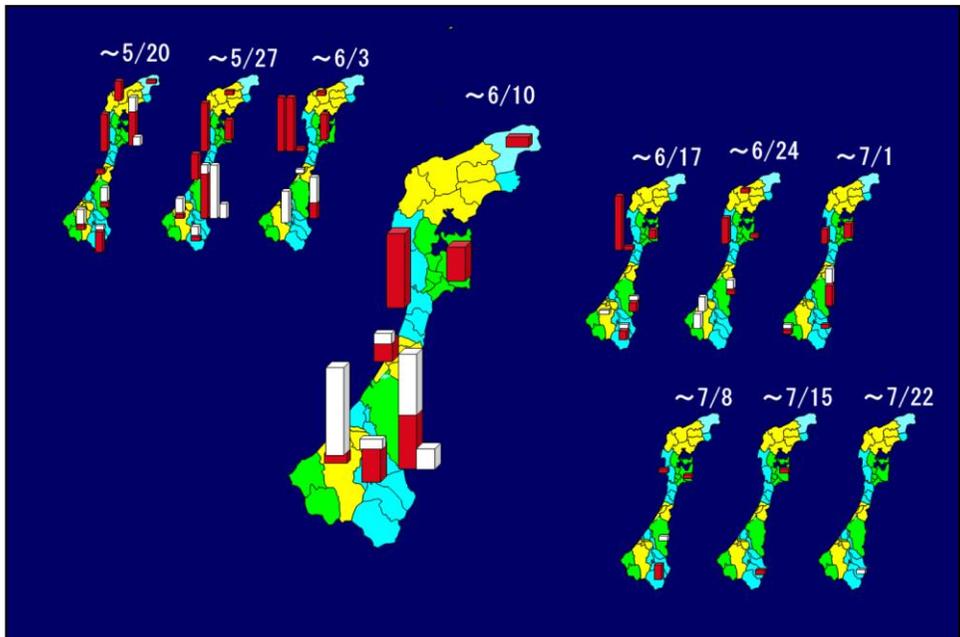
5/23 [kinders_01081]

☆キンダース感染症情報 No. 31

感染症の発生が、町単位、小学校単位、
保育所単位で分かります。



これは今年3月から石川県で流行した／麻疹の1週毎の拡がりです。管轄センター別になっております。長い柱1本が10人です。ここに潜伏期があって／ここでアウトブレイクしているのが分かります。メーリングリスト上では／このアウトブレイク後大騒動になり／色々ディスカッションされ、医師会や県に対しても働きかけがなされました。羽咋から県全体へ拡がっているのが分かりますと思います。



その続きであります。赤が県のサーベイ。
 白はそれ以外の我々のメーリングリストでの判明分です。金沢、松任、小松の会員が多い為／その分サーベイ定点外からの報告も多くなります。

施設内の流行

(発症日、又は診断日から発症日を換算)

○ 保育園



Y 小学校



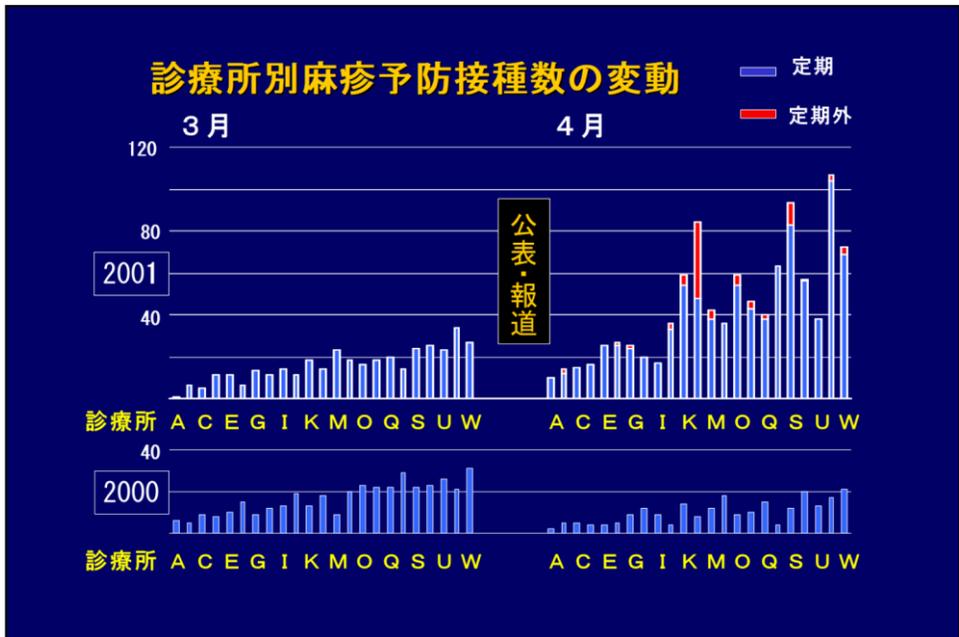
M 小学校



会員の情報による／金沢市内の施設での麻疹の流行をまとめたものです。これらの保育園、小学校では／どれもきれいに潜伏期間のインターバルで麻疹が発生しています。本来3次感染以降は／広報活動で発生を予防できるはずです。麻疹が初めての場合、麻疹発生の事実と予防接種の推進を／養護教員等担当者へ連絡する事、そして自院の待合室での院内感染対策を施す事を、会員にお願いして参りました。しかし



麻疹が流行しつつある事を待合室に掲示しても／ほとんど反応はありませんでした。
金沢松任地区で／麻疹の発生が確認された後の／4月3日になってやっと麻疹の流行が公表／そして報道されました。それから予防接種を受けに来る児が急増しました。



4月になってすぐ／麻疹についての公表と報道があったので、その具体的反応をメーリングリストを通じて、調査いたしました。

去年と今年の3月4月に接種した／麻疹ワクチンの数を報告してもらいました。このスライドは夫々のクリニック別の接種数であります。例年の4月はポリオを優先するので、去年の4月の様に麻疹の接種数が通常よりも少なくなるのが普通です。今年の4月は去年の4月の4.5倍位の接種数になりました。また、0歳児の定期外接種も多くありました。これには県の公表によって動き出す事が出来た／保健所のPR活動も忘れてはなりません。この様に県の麻疹についての公表とそのマスメディアの影響は／非常に大きな物である事が判りました。

渡部です。

1才4ヶ月の男児、金石北在住、大野町保育園通園

4月9日39℃の発熱、咳で受診

昨日発熱なくも、本日(12日)39℃頬粘膜にKoplik様粘膜疹(+)
咽頭発赤弱く、「発疹が出たら電話を」と言って帰宅。

夕方電話あり。再度受診してもらおうと、顔面と体幹にまだ淡い発疹
(明日になれば明瞭に?)、頬粘膜はやはりKoplik様。咳は犬吠様。
最近、麻疹を診ていないから自信が?。多分麻疹。
これからが大変。

4/12 [kinders_00917] 麻疹でしょう。

さて、メーリングリストでの感染症情報が
／その診断や院内感染を予防できた／私
自信の経験を紹介します。

今年、私の診療所で5人麻疹を診断い
たしましたが、私はここ数年麻疹は見た
事がなく、最初の児のKoplikは確信が持
てなかったもので、住んでいる町名と保育
園名を出して、「疑い」として診療後に
メールで流しました。

本日当直の堀田です。

渡部先生と同じ大野町保育園児（1歳2ヶ月）。

4月8日 初診し、上気道炎として処方。

「このかぜが治ったら麻疹の予防接種しましょう」と言っていた児。

13日 AM3:00 受診。発疹とコプリックあり。
麻疹でした。

金石近辺流行しそうです。

4/13 [kinders_00921] 麻疹です

するとその日の夜中に、それを読んでいた石川県中の堀田先生が／同じ保育園の別の児を麻疹と診断し、報告されました。私は翌朝そのメールを見て／「やっぱり麻疹だったか」と確信を持てた次第です。これらは金沢市内での最初の麻疹の例でありました。

中村です。

本日ついに当院でも麻疹が出てしまいました。

1才4ヶ月 女児 金沢市八日市 金沢おしの保育園（タンポポ組）

5/30に麻疹ワクチン接種。6/2よりセキ・ハナ少し。

6/4より熱38.5度。6/6一旦解熱するも夕方より再び38度、発疹出現。

本日あまりはっきりしないが Koplik様 (+)。元気よろし。

感染経路不明。

5/30のワクチンのeffectでしょうか、とても軽い印象！

6/7 [kinders_01158] ついに当院でも...

もう一つ、このメールは私の近所で開業している中村先生から、この保育園で麻疹の児が出たという／報告であります。

渡部です。

＞ 本日ついに当院でも麻疹が出てしまいました。

の中村先生のメールで、

受付に「金沢おしの保育園児で、麻疹の予防注射（-）の児で、発熱して受診の子は隔離室へ」と書いて職員向けに貼っておいたら。

金沢南地区（八日市）：金沢おしの保育園（すみれ組）の3才みが14日に受診。当初より隔離。

一応可能性を話をして16日再診してもらってもKoplikハッキリせず。今日(6/18)発疹(+)。Koplik (+)

中村先生情報有難う。うちでの2次感染の可能性はゼロです。

6/18 [kinders_01236] Re: ついに当院でも・・・

そこで私の診療所では、麻疹の予防接種をしていない熱発のそのの保育園児は／待合室に入る段階で隔離。熱が続く時には／昼休み時間に来院させ／診察をしていました。

丁度、中村先生の症例から潜伏期間を経た頃、熱発の児がVIP待遇で診察をされていました。その4日後の昼休みに診察した時には／Koplikと発疹がありました。こうして待合室での2次感染を／予防する事が出来ました。中村先生の情報様々でありました。

結語

ローカルメーリングリストでのローカル感染症サーベイランスで

1. 町、学校、幼稚園、保育所等の単位で感染症の流行が把握できた。
2. 麻疹等要注意の感染症の患者発生が短いタイムラグの情報でその診断や院内感染予防に役立った。

行政の感染症流行の公表とマスコミのその報道はワクチン接種数の増加をもたらした。

結語

- ・ ローカルメーリングリスト上での感染症ローカルサーベイによる／タイムラグの少ない情報は、麻疹の拡がりや流行を把握でき、そしてそれは麻疹の診断と院内感染の予防に役立った。
- ・ 麻疹の流行の公表、そしてその報道は／麻疹ワクチンの接種数の増加をもたらした。

以上、スライド有り難うございました。